

# 館山の海を愛した画家たち展

～青木繁・寺崎武男・倉田白羊～

2019.7.13(土)～9.1(日) 9:00～16:45

会場：“渚の駅”たてやま 2F ギャラリー 入場無料

千葉県館山市館山1564-1 TEL:0470-22-3606 ※休館日:7/29(月) 8/26(月)



青木繁『海の幸』 石橋財団アーティゾン美術館(旧ブリヂストン美術館)蔵 <複製画展示>

**青木繁** 1882-1911 東京美術学校を卒業した1904(明治37)年夏、友人と恋人と4人で布良(めら)の小谷家に滞在しました。神話の里・布良はマグロ漁発祥の漁村として栄え、遭難が多く、また日露戦争下で制限の厳しい要塞地帯でした。帝国水難救済会布良救難所の看守長であった小谷喜録(きろく)の特別な配慮と支援を受け、青木は重要文化財『海の幸』などを情熱的に描くことができたようです。神話にも造詣が深く、重要文化財『わだつみのいろこの宮』は布良の潜水体験から3年がかりで構想したと述べています。本展では、原画に忠実に制作した複製画を展示紹介します。



寺崎武男作品(原画)  
当会蔵

**寺崎武男** 1883-1967 青木繁より3年後に東京美術学校を卒業し、農商務省実業講習生としてイタリアに留学。テンペラ画やフレスコ壁画、エッチングなどの技法を研究し、日本美術史に影響を与えました。日本人初のヴェニス・ビエンナーレ国際展入賞。先に館山に住んでいた現代彫刻の祖・長沼守敬を慕って移住しました。自らを海洋の画家と称し、布良や七浦で神話や平和を願う作品を描きました。戦後は安房高校で美術講師をしながら、文化振興に尽力しました。安房神社や下立松原神社・布良崎神社などに奉納作品があります。法隆寺金堂焼失の際には輪堂の壁画を描きました。このたび遺族から寄贈された作品や貴重な書簡資料などを展示紹介します。



**倉田白羊** 1881-1938 洋画家・浅井忠の親戚にあたり、青木繁の3年前に東京美術学校を首席卒業。布良の隣村・根本出身の小谷英子と結婚し、館山に住みました。義兄の小谷仲治郎は、米国モンテレーのアワビ漁に従事し、帰国後は七浦漁協組合長となり、倉田の画業や児童自由画教育を支援しました。義兄宅には倉田の描いた襖絵が所蔵されていました。美術芸誌『方寸』の青木繁追悼特集は、倉田夫妻が編集しています。版画家・山本鼎に招かれ、信州上田で日本農民美術研究所の副所長として活躍しました。



倉田白羊『水門』 館山市図書館蔵

## \* 青木繁生誕祭 \*

7月13・14・15日(土日祝) 10:00～16:00  
in 青木繁「海の幸」記念館(小谷家住宅)

7月13日(土) 10:30～11:30 in 渚の駅  
「複製画制作から見える青木繁の描く波」  
島田 吉廣 アートプロセス代表

## \* 渚のギャラリートーク \*

8月20日(火) 13:30～15:00 in “渚の駅”たてやま  
「明治の洋画家 青木繁の魅力」  
高橋 沙希 関西大学非常勤講師

8月27日(火) 13:30～15:00 in “渚の駅”たてやま  
「館山の海を愛した画家たち～青木繁・寺崎武男・倉田白羊」  
愛沢 伸雄 NPO法人安房文化遺産フォーラム代表

## ◆◆◆ 青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅 ◆◆◆

(館山市指定有形文化財・ちば文化資産)

青木繁を敬愛する全国の画家の皆さんの支援を得て小谷家住宅を修復し、2016年に記念館として開館しました。現在は400名を超える「友の会」の会費や入館料でまかない、市民ボランティアにより維持運営しています。

当時のたたずまい、青木繁の感じた空間をご堪能ください。庭園には彫刻家・船田正廣氏制作のブロンズ『刻画・海の幸』や、ノーベル生理学・医学賞受賞・大村智先生の記念植樹もあります。

\*開館日：土日曜日（平日は団体で要予約） 開館時間：10:00～15:30

\*維持協力金(入館料) 200円・小中高100円

※友の会会員は入館無料・会報送付

【友の会会員募集】 年会費2,000円・法人10,000円

(ゆうちょ銀行00150-6-616201 青木繁「海の幸」記念館)



## \*女子美術大学附属中学スケッチ作品展

7.27(土)～8.25(日)

6月上旬、139名の女子美中学生が布良を訪れました。青木繁「海の幸」記念館や布良崎神社、布良漁港を写生したすべての作品を展示します。



【会場】 ① 青木繁「海の幸」記念館  
(館山市布良1256)

② 千里の風  
(館山市藤原1495-1)

③ 安房自然村  
(館山市布良600)

## 交通案内

### 【JR館山駅まで】

- ・東京駅から、高速バス「なのはな号」(約100～120分)
- ・JR内房線「さざなみ」(約120分)
- ・新宿駅から、高速バス「新宿なのはな号」(約110分)
- ・千葉駅から、高速バス「南総里見号」(約100分)
- ・横浜駅から、「空港リムジンバス」(約110分)
- ・羽田空港から、「空港リムジンバス」(約100分)

### 【“渚の駅” たてやまへ】

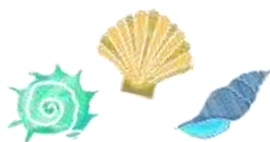
- ・館山駅西口から徒歩10分
- ・ // タクシー約3分
- ・自家用車：館山自動車道 富浦ICから10分

### 【青木繁「海の幸」記念館へ(布良)】

- ・館山駅からJRバス関東・安房白浜行き(約20分)  
「安房自然村」下車、海側へ徒歩2分
- ・館山駅からタクシー約15分
- ・自家用車：館山自動車道 富浦ICから国道410号線で約25分



“渚の駅” たてやまは、さかなクンギャラリーや海辺の広場、漁具の展示なども楽しめる「渚の博物館」です。展望デッキから館山湾(鏡ヶ浦)の夕日桟橋や富士山を眺めることができます。



\*主 催：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

\*事務局：NPO 法人安房文化遺産フォーラム (090-6479-3498 池田・090-3218-3479 河辺)

\*後 援：館山市・館山市教育委員会・館山市観光協会・房日新聞社